

Interview



前橋育英高
古澤 一生さん(棒高跳び)

Profile

小4で棒高跳びを開始。8月に開催された県高校体育大会では5m51cmを跳び、日本高校生記録を更新した。

記録で感謝を伝えられたことがうれしい

県高校体育大会の前に開催された県陸上競技選手権で自己ベストを1cm更新。たった1cmですが、更新するまで1年以上かかったのでここで跳べたことは大きく、同大会にも手応えを感じて挑めました。感染症の影響で試合数が少なくなることは分かっていたので、1試合1試合を大切にしようという思いもありました。新記録を出せたことで、監督やコーチなど周囲の人に記録で感謝の気持ちを伝えられたことがうれしかったです。

来年に延期となった世界ジュニア陸上競技選手権大会で金メダルを取ることが、近い将来の目標です。



日本の高校生新記録5m51cmを跳び、コーチらと喜びを分かち合う古澤さん。



前橋工業高
中島 風花さん(空手・形)

Profile

6歳から空手を開始。7月に開催された全国高等学校空手道・形インターネットGPの女子部門で3位となった。

さらに上を目指したい

インターネットGPは、それぞれの場所でビデオ撮影した演武を事務局に送り審査がされる、今までにない大会。通常は審査員の前で演武をしますが、今回は仲間に見守られていたのでリラックスしてできました。地元で競技ができるはずだったインターハイが中止になり残念でしたが、高校生としては最後の大会になるので、力を出し切るつもりで挑みました。

今後は大学でも競技を続けて、さらに上を狙いたいです。将来は体育の教員になって、みんなに空手を教えるのも夢のひとつです。



全国高等学校空手道・形インターネットGP決勝ラウンドの動画はこちらから。



市立前橋高
川和 大気さん(弓道)

Profile

高校入学後、弓道を開始。8月に開催された県高校体育大会で団体優勝。個人でも2位となった。

仲間のためにも団体では負けたくない

感染症の影響で予定されていた大会はなくなってしまい、代替えで開催された大会は通常とは試合形式が異なり、緊張感がありました。

これまで思い出に残っているのは2年生の時の新人戦。団体が全国3位になりました。仲間を良い結果に導くには自分が鍵になると思い挑んだ大会。今も、特に団体では負けたくないという気持ちがあります。

弓道から学んだのはプラス思考の大切さ。楽しく弓を引ければ、結果が付いてくると信じて、大学へ進学しても楽しく続けていきたいです。



後輩へアドバイスをする川和さん。

挑め、未来へ

これまでと違う夏
変わらない思いで

問市政発信課
027・898・5847

新型コロナウイルス感染症の影響で、本市でも開催が予定されていた全国高等学校総合体育大会（インターハイ）など各種スポーツ大会が中止となりました。

今年が高校生活最後の夏となった3年生の生徒たち。3年間の部活動の集大成として挑む大会は例年に比べ規模を縮小したり、違う形式を取られたりして開催されています。そんな例年とは違う環境の中でも、力強いパフォーマンスを見せた生徒たち。未来をみつめる力強いまなざしは、多くの人に希望を与えています。